機械設備工事特記仕様書

Ａ．建　築　概　要

工　事　名　称	積替保管施設建設工事
主　要　用　途	倉庫
主　要　構　造	□ ＳＲＣ造　□ ＲＣ造　□ ＰＣ造　□ 鉄骨造　□ 軽量鉄骨造　□ ＣＢ造　□ 木造　■ その他（骨組膜構造）
工　事　種　別	■ 新築　□ 増築　□ 改築
工　事　期　間	着工　平成２６年　月　日　　竣功　平成２６年　月　日
建　築　場　所	横須賀市長坂５丁目３６５６－１７ほか
用　途　地　域	□ 近隣商業　□ 商業　□ 第１種低層住居専用　□ 第２種住居　■ 市街化調整区域
防　火　地　域	□ 防火　□ 準防火　□ 無指定
そ　の　他	□ 都市計画区域内　□ 市街化区域　□ 高度地区（第３種）　□ 高度地区指定なし　□ 風致地区（第　種）
敷　地　面　積	1、９１７．００ｍ^2
建　築　面　積	９６２．８１ｍ^2
法定延床面積	９７２．８１ｍ
建　築　規　模	地下　－　階　　地上　１　階　　塔屋　－　階

Ｂ．工　事　項　目

■ 給水設備	□ 給湯設備	■ 排水通気設備（屋外排水を含む）
■ 衛生器具設備	□ ガス設備（都市ガス）	□ 冷暖房設備
■ 消火設備	□ 換気設備	□ ＴＥＳ設備

Ｃ．一般共通事項

設　計　図　書
a　この工事に適用する設計図書は、設計図・特記仕様書・見積要項（現場説明書・質疑応答書を含む）よりなる。
b　設計図書の優先順位 ： １．見積要項　２．特記仕様書　３．設計図　４．共通仕様書
c　特記された材料・製造所・施工業者・工法の取扱い
同等以上または同程度と記載された場合は、特記のもの又は同等以上のものとし、同等以上のものを採用するときは、その適格を証明する資料を添えて承諾を受ける。単独又は並列で特記された場合は、それらのうちから選ぶ。

疑義・条件の変更
a　設計図書に関する疑義は、工事契約前に質疑応答をもって確かめる。なお、工事中に生じた疑義の措置については監督員と協議の上決定する。
b　関連工事の工事区分・分離発注の場合の工事区分・機器支給の場合の工事区分の確認についても前項と同様とし、工事区分に欠落があった場合は、関係施工者の負担で工事を完成させる。
c　設計図書に表現されていない部分で当然必要と思われる部分・現場の取り合い・納まりなどの関係による軽微な変更は、監督員の指示等による。この場合請負金額は増減しない。

施工の管理
a　設計図書に指示のある場合を除き、仮設・工法など工事を完成するために必要な手段については、施工者の責任において決定する。
b　特記を除き、工法は共通仕様書の規定を基準とするが、同一仕様を得るに適したよりよい工法がある場合、施工者の責任において立案・計画し、係員と協議の上、これを変更することができる。
c　工事現場管理は、すべて施工者の責任において行う。

施工計画書
a　工事の着手に先立ち、すべての工事について施工計画書・施工要領書を提出して承諾を受ける。

施工要領書
b　軽微な工事項目は、採用する材料・製造所・施工業者のカタログ・工事経歴書のその他の資料をリストにして提出することにより、施工計画書に代えることができる。

施工図
a　原則として施工図作成の責任者を定め、施工図の作成範囲・内容などを協議し、事前にその作成リストを提出し承諾を受ける。
b　施工図はすべて監督員の承認を受けて工事に着手する。承諾印のない施工図による施工又は施工図のない施工で設計意図に沿わないと認めた場合は、工事竣工として扱わない。
c　施工図・製作図の承諾は、設計意図についてのみ承諾し、施工寸法の誤謬などの責は負わない。

材料
a　材料の検査・試験は、施工計画書に基づき施工者が行い、その結果を提出して係員の承諾を受ける。監督員の立会いは、設計図書又は係員の指示に基づいて行う。

施工の検査・立会い
a　施工の検査・試験は、施工計画書に基づき施工者が行い、その結果を提出して係員の承諾を受ける。
b　施工後検査が困難な工事は、必要とする工程ごとに施工者の責任により検査・立ち会いを行い、その記録（工事写真を含む）を係員に提出して承諾を受ける。
c　竣工検査は、施工者の社内竣工検査報告書に基づき、十分な手直し工程を見込んで竣工下検査を受け、手直し・残工事などの一切を完了した上で建築主立会いの竣工検査を受ける。
d　建築主事・関係官公署・事業会社の立会検査を必要とするものは、その申請手続きを含め、施工者の負担において検査立会いを受け、その結果を監督員に報告する。

工事保証
a　かし担保の期間は、工事請負契約書の記載による。

工事報告
a　提出図書
１　工程表　２部
２　工事施工計画書　２部
３　承諾申請図　２部
４　完成図書（取扱説明書含む）　３部
５　試験成績表　３部
６　工事写真　１部
b　工事の連絡・打合せ記録・承諾願い・指示書の類は、すべて文書の授受で行う。

変更・追加工事
a　変更・追加・削除工事で、建築主に対して契約金額の変更が必要なものについては、すべて建築主及び監督員の指示書により施工する。文書による事前承認のない場合は、契約金額の変更がないものと見なす。

穴明補修
a　天井、壁、又は床等に穴明けする場合は、型枠工事中に行い、主体部分の穴明けは、最小範囲に止め、施工後完全に修復する。
特に仕上げ部を破損した場合は、監督員の指示通り速やかに復旧する。

資材業者並びに下請業者
a　部分工事並びに製作品における製作の一部を下請負させる場合は、下請け業者届出書を提出し、監督員の承認を受ける。

Ｄ．工　事　概　要

■ 給水設備
給水方式　□ 直結直圧　□ 直結増圧式　■ 加圧式　□ 重力式
既設受水槽より加圧給水ポンプを新設し供給する。
量水器　メーター設置なし。
弁類　水道直結部分はＪＩＳ１０Ｋ、その他はＪＩＳ５Ｋとする。　コアー内臓
ﾗｲﾆﾝｸﾞ管　呼び径８０Ａ以下はネジ接合（ネジ接合部は管端防食継手）、１００Ａ以上はフランジ接合とする。
地中埋設　地中埋設標　■ 設置する　□ 設置しない　　埋設表示テープ　■ 設置する　□ 設置しない

■ 排水設備
取付方式　既設浄化槽放流先変更及び倉庫内排水設備を新設汚水槽へ放流。
建家外（汚水ー雨水）　□ 合流　■ 分流　　建家内（汚水ー雑排水）　■ 合流　□ 分流
放流先　汚水　公共下水道（□ 直接放流　□ 浄化槽）□ 側溝　□ 河川　■ 汚水槽
雨水　公共下水道（□ 直接放流　□ 浄化槽）□ 側溝　□ 河川　■ 汚水槽
調整池　□ 有　□ 無

■ 衛生器具設備
種類　衛生器具表に記載の衛生器具・陶器類を堅固に取付ける。
取付寸法　施主および現場監理者の指示なき限り、取付寸法はメーカー標準寸法を遵守する。

■ 消火設備
設備　□ 連結送水管送水設備　■ 屋内消火栓設備　（□1号　□2号　■ｹｰｼﾞ型）　□ 移動式粉末消火設備
□ スプリンクラー設備　□ ハロン消火設備　□ 湿式　□ 乾式　立管（連送と内消用を　合□　単独□）

Ｅ．特　記　事　項

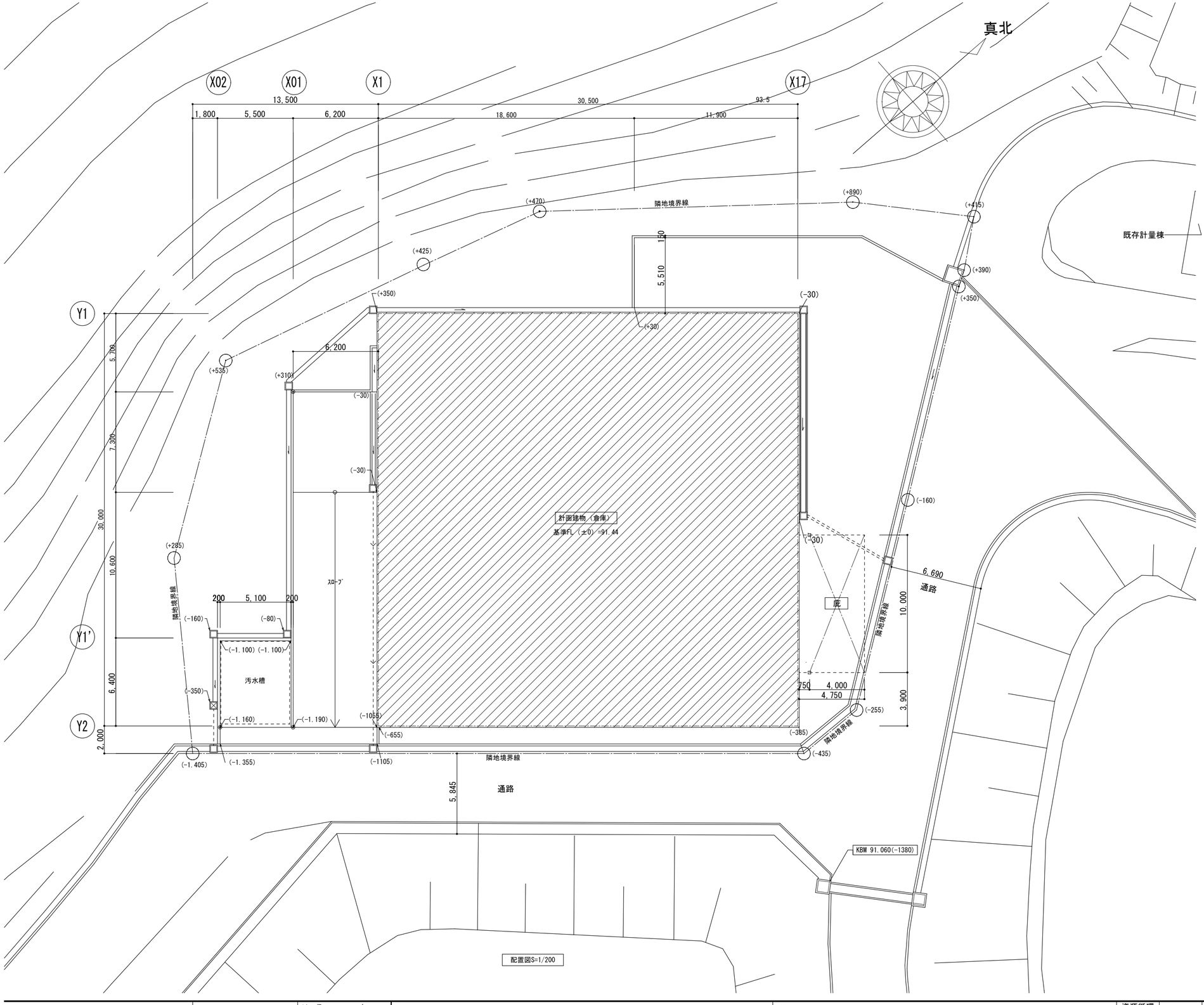
凡例　▨ 印を適用

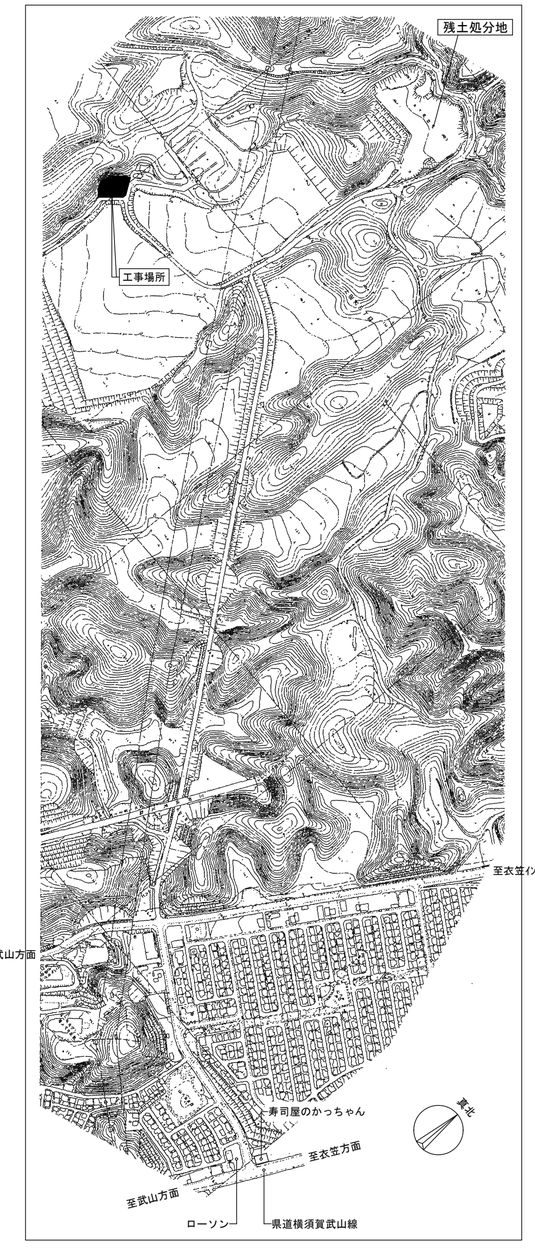
名　称	記　号	材　質	備　考
■ 給水管	——－——	右記による	一般部：①　屋外露出：①
			土中：①
■ 排水管	——	右記による	一般部：②　屋外露出　②
			土中：②
■ 屋外排水管	——	右記による	１５０Ａ未満：③　１５０Ａ以上：④
			塩ビ桝間：④
■ 水栓			
■ 水栓柱			樹脂製
■ 仕切弁		（青銅）・鋳鉄	ＧＶ　ＪＩＳ　５Ｋ　１０Ｋ　（コア内蔵形）
■ ボール弁		（青銅）・鋳鉄	ＧＶ　ＪＩＳ　５Ｋ　１０Ｋ　（コア内蔵形）
■ 逆止弁		（青銅）・鋳鉄	ＣＶ　ＪＩＳ　１０Ｋ　（コア内蔵形）
■ フレキシブル継手		ＳＵＳ製	ＦＪ　ＪＩＳ　１０Ｋ〔水用〕
□ 自動空気抜き弁			ＪＩＳ　１０Ｋ〔水用〕〔日水協検査合格品〕
■ 床排水トラップ		クロームメッキ	Ｔ５Ａ　・　Ｔ５Ｂ　・　Ｔ３Ａ
			（Ｄ金具）

【配管材料】
① 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管〔ＨＩＶＰ〕
② 硬質塩化ビニール管〔ＶＰ〕　ＪＩＳ　Ｋ　６７４１
③ 硬質塩ビ管〔ＶＰ〕（屋外排水・厚肉）　ＪＩＳ　Ｋ　６７４１
④ 硬質塩ビ管〔ＶＵ〕（屋外排水・薄肉）　ＪＩＳ　Ｋ　６７４１

	検図 ／ ． ．	竣工図 保管 ／ ． ．	承認 ／ ． ．	訂正 ． ．	特記	資源循環部資源循環施設課	資源循環施設課長	係長	担当者	図面内容	積替保管施設建設工事
	製図 ／ ． ．		作成 ／ ． ．								特記仕様書。凡例
										縮尺	N.S

枚ノ内	
図面番号	M — 01
区分	機械設備





案内図

計画概要

工事場所	横須賀市長坂5丁目3656-17,18,12,14
用途地域	市街化調整区域
工事種別	新築（仮設建築物）
主要用途	倉庫
敷地面積	1917.00㎡
建築面積	962.81㎡
床 面 積	972.81㎡(925.31+47.50)
構　造	骨組膜構造

		竣工図	保管 / . .	訂正	. .	特記	資源循環施設課長	係長	担当者
			承認 / . .		. .				
検図	/ . .		確認 / . .		. .				
製図	/ . .		作成 / . .		. .				

資源循環部資源循環施設課

図面内容	積替保管施設建設工事	図面番号	M－02
	配置図・案内図	枚ノ内	
縮尺	1/200	区分	

機器表

機器番号	機器名称	設置場所	台数	仕様	電源 50 Hz 相 φ	電圧 V	容量 KW	備考
PU−1	加圧給水	屋外	1	型　式：　推定末端圧力一定ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ				ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎　３００Ｈ
	ポンプユニット			屋外仕様				
				運転方式：　自動交互運転				
				能　力：　３２φ×　８０ｌ/ｍｉｎ×　４４ｍ	3	200	1.1	
				付属品：　制御盤（故障警報端子）、				
				屋外カバー				
Ｈ−１	パッケージ型	倉庫	2	型　式：　露出型				
	消火設備	（１階）		外形寸法：　７００Ｗ×２５０Ｄ×１４００Ｈ				
				付属品：　標準品一式				
Ｈ−２	パッケージ型	倉庫	1	型　式：　露出型				
	消火設備	（１階）		外形寸法：　７００Ｗ×２５０Ｄ×１４００Ｈ				
				付属品：　総合盤組込可能				

注記）
※ 機器はすべて標準付属品および必要部材一式共とする。

器具表

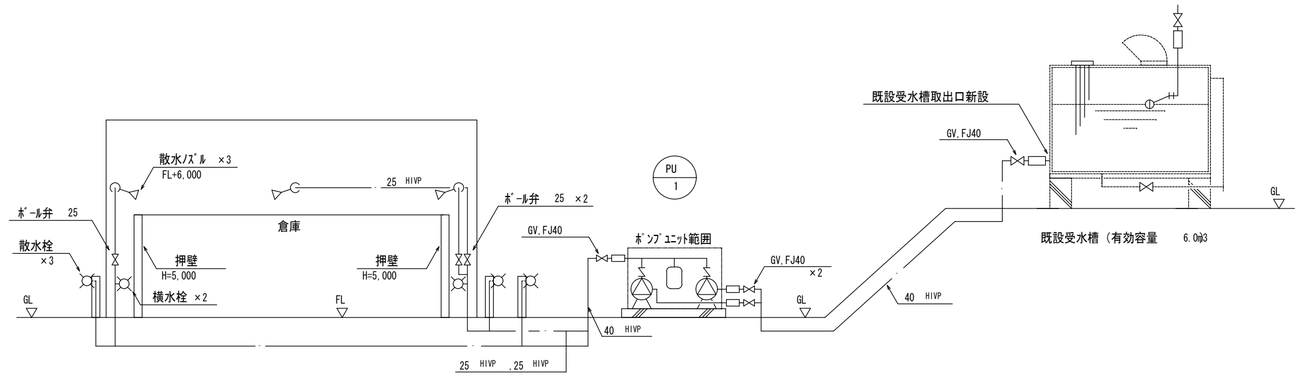
器具名称	参考型番	設置場所 / 付属品　備考	１Ｆ 倉庫				屋外	合計
散水ノズル	ＳＨ３５（ﾋﾄﾞﾛ）	ノズル口径 ＮＯ１２（取付口径 ２０Ａ） （水圧２．５ｋｇ／ｃｍ２ 散水半径１３．９ｍ 散水量２２．８ｌ／ｍｉｎ 散水角度 0° ～ 315° の範囲で調整可能）	3					3
カップリング付横水栓	Ｔ２８ＡＵＮＨ１３　（TOTO）	差込式、逆止弁付	2				3	5
水栓柱		樹脂製 １２００Ｈ					3	3

注記）
※　衛生器具の設置は、メーカー標準取付寸法を遵守する。
※　器具表に記載無くとも、必要部材一式共とする。
※　機器類を変更する場合は同等品とする。

排水桝一覧表

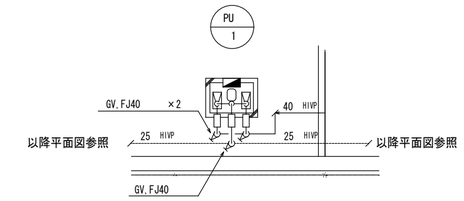
（汚水桝）

記号	種類	地盤高	管底高	桝内寸	桝深さ	桝蓋仕様	備考
①	塩ビ桝	92.150	91.66	200 φ	490 H	塩ビ製蓋	
②	〃	92.100	91.57	200 φ	530 H	〃	角度調整継手共
③	〃	92.000	91.46	200 φ	540 H	〃	〃
④	〃	92.120	91.32	200 φ	800 H	〃	〃
⑤	〃	92.070	91.10	200 φ	970 H	〃	
⑥	〃	91.894	90.89	200 φ	1,010 H	〃	角度調整継手共
⑦	〃	91.749	90.67	200 φ	1,080 H	〃	
⑧	〃	91.640	89.81	200 φ	1,830 H	〃	トラップ桝
⑨	〃	91.768	89.70	200 φ	2,070 H	〃	ドロップ桝　-970　，角度調整継手共
⑩	〃	91.400	89.47	200 φ	1,930 H	〃	
⑪	〃	91.361	89.39	200 φ	1,970 H	〃	

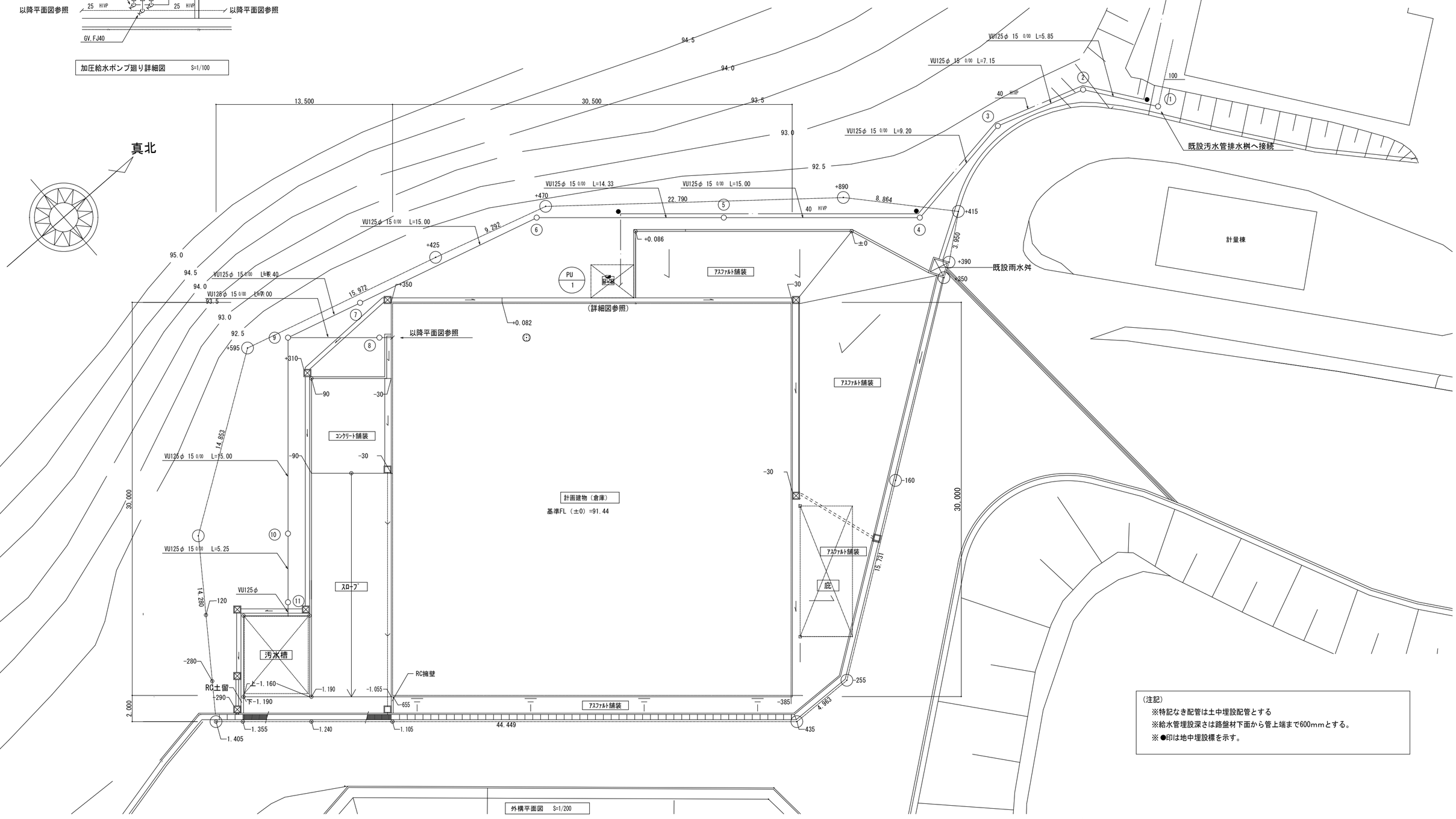


系統図

| | | | | | | | |



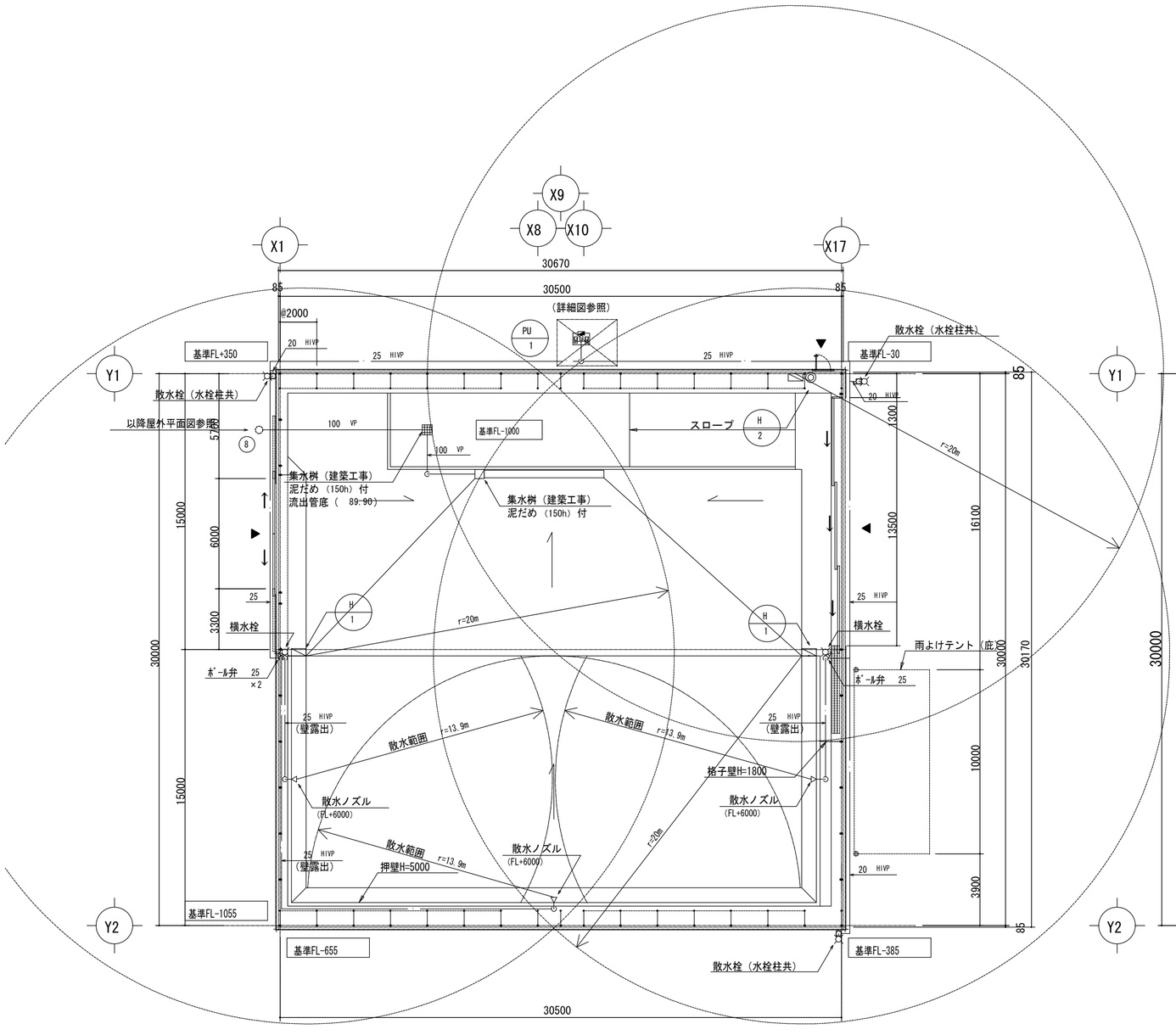
加圧給水ポンプ廻り詳細図　S=1/100



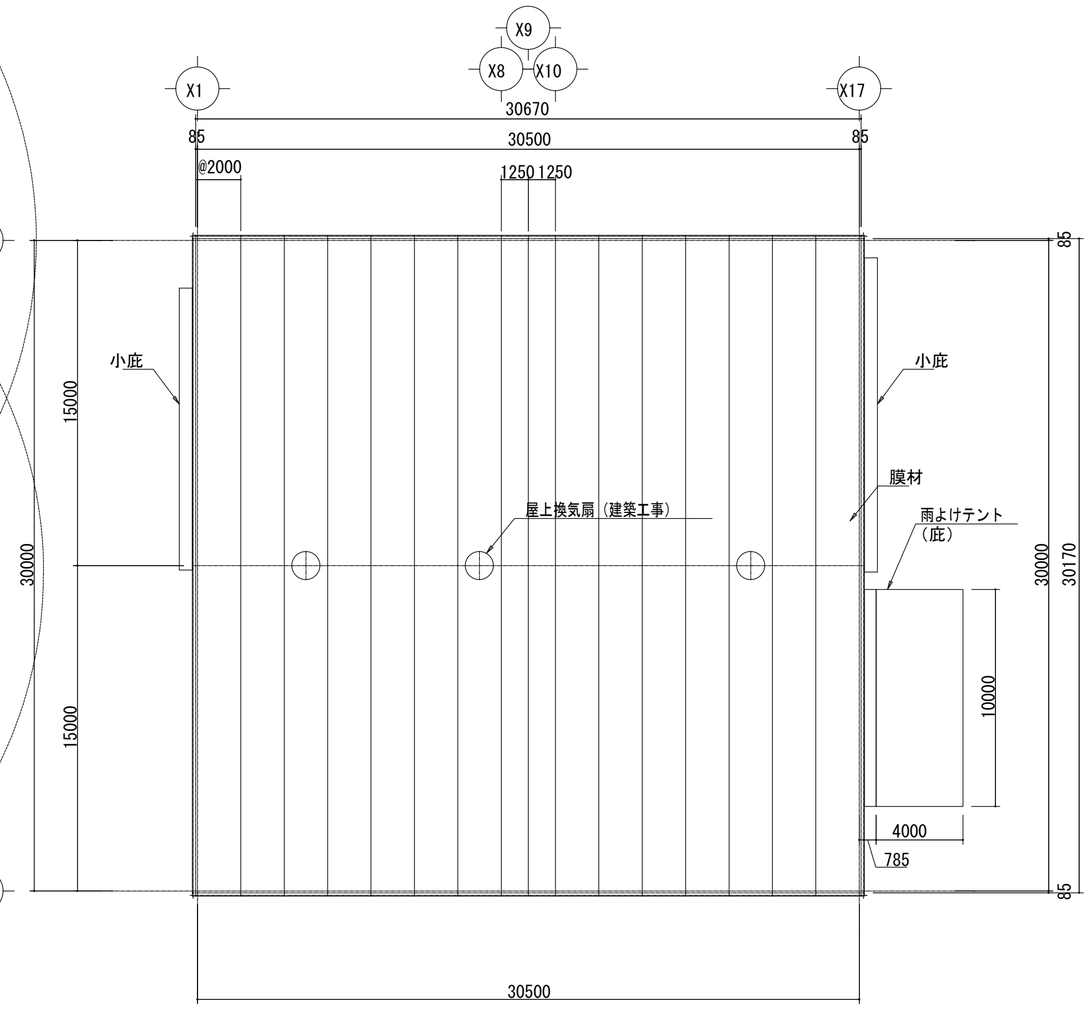
外構平面図　S=1/200

		竣工図	保管	/	訂正		特記	資源循環部資源循環施設課	資源循環施設課長	係長	担当者
			承認	/							
			確認	/							
検図	/		作成	/							
製図	/										

図面内容	積替保管施設機械設備工事	図面番号	M — 04
	衛生設備　屋外配管平面図	枚ノ内	
縮尺	1/200	区分	機械設備



平　面　図　S=1/200



屋　根　伏　図　S=1/200

（注記）
※特記なき配管は土中埋設配管とする
※給水管埋設深さは路盤材下面から管上端まで600mmとする。
※散水ノズルの操作は手動ﾎﾞｰﾙ弁にて行う。

		設工図	保管 / . .	訂正	. .	特記	資源循環部資源循環施設課	資源循環施設課長	係長	担当者	図面内容 積替保管施設建設工事
			承認 / . .		. .						衛生設備　平面図・屋根伏図
			確認 / . .		. .						縮尺 1/200
	検図 / . .		作成 / . .		. .						図面番号 M — 05
	製図 / . .				. .						区分 機械設備